

「自分に期待する」

秋になると、この学年ももう半分です。3年生はもちろん受験が本格化しますし、1年生は文理選択が確定、2年生は科目選択や、いよいよ5教科の模試がはじまるようになります。2年生は部活の総仕上げも見え始めてくる頃ですね。あと半分と考えると、来年の4月はどうなっているのかなという不安が生じたりもします。特に3年生は模試が毎週のようにあり、個票を見ても、なかなか思い通りの結果が出ていなかったりするでしょう。そういうときに、意識してほしいのが、「自分に期待する」という言葉です。たまたまにかのインタビューでそのようなコメントを目にして、これはいい言葉だなと思いました。

今の力とか、これまでの結果を考えてクヨクヨするより、今これをやれば、これを続けていれば、これからやってみれば、自分はなるだろうかと、という期待をすることの方が大事です。よく、あまり期待しすぎると、結果をみてがっかりする、なんていう人もいますが、その結果もまだ過程にすぎません。人生にはその次があります。何かの結果が出たからといっても、次に期待すればいいのです。なんでも次がありますよ。こういう考え方は、今だけでなく、大学に入ってから、就職をしてからも、きっと役に立つはず。まずは自分に期待する、その期待に向けて日々を積み重ねる、という考え方を持てるようになってほしいです。

石川県の大学見学をして、大学の個性について考えてみました

先日、石川県の大学コンソーシアムから案内を受けて、石川県の大学見学に行ってきました。石川県といえば金沢大学ぐらいしかイメージがないかもしれませんが、実は石川県は人口10万人当たりの大学の数が全国2位(1.25校)(1位が京都、3位が東京。ちなみに静岡県は40位(0.39校))ということもあり、大学間の連携がよくできています。

今回は、石川県立大学・金沢工業大学・かなざわ食マネジメント専門職大学の3つの大学の見学と、公立小松大学・金沢大学・北陸大学との懇談をしてきました。全部を紹介することはなかなか難しいですね。

それぞれ興味深かったのですが、特に印象的だったのが、石川県立大と、公立小松大です。石川県立大は、農学系の大学です。農学系は当然ながら、その地域の特性の要素が大きいです。静岡県であれば、静岡県の農業、石川県であれば、日本海側の農業を学ぶことになるわけですね。石川県は、米作や果樹(リンゴがありました)が特徴だということでした。地域の特徴があるという話を聞いて、以前、熱帯の農業について学びたい、ということで琉球大学農学部を目指したり、乾燥帯の農業を学びたいと鳥取大学農学部(砂丘を使って緑化の研究をしている)を目指す人がいたな、ということ思い出しました。

一方、公立小松大は、建設機械などで知られるコマツがある小松市にあり、そのお膝元ということで、生産システム系に強い大学だということでした。これら農業系や工業系の学部は、やはりその地域の特性にかなり影響を受ける分野なのだな、ということを強く感じました。農・工を扱う公立大学は静岡県にはないですが、調べてみると結構各地にありますね。

こういった学問分野に対して、資格系の分野は、それほど地域による違いはないと言えます。医療系(医師・看護師・薬剤師・その他医療系の資格)、教育系(教員免許)などは、その典型だと思います。医学部志望であれば、全国どこでも受験するのが一般的です。もちろん、生活する上では、地域の違いは大きいので、ある程度の下調べをする必要は当然ありますが。

少しこの考えを広げていくと、理論系の学問と、実験・事例研究系の学問の違いにも通じるでしょう。例えば、数学は理論系なので、(乱暴に言えば)どこで学んでも大きな違いはありません(ただし、旧帝大クラスは、さらに先を研究する)。一方、生物学は実験系なので、その大学がどういう施設・制度であるかで大きな違いがあります。ちなみに、石川県立大で見学した授業の一つに、実験用のマウスの扱い方・飼い方についての講義がありました。講義の最後に動物慰霊祭の話が出てきて、当たり前といえばそれまでですが、改めて大学での研究ではそういうこともあるんだよな、と妙に納得してしまいました。ほかにも地学なども、地域性は大きいです。火山や地層のフィールドワーク、気象データの収集など、近場の方が研究はしやすいですね。

ちなみに、文系は事例研究がメインとなるので、講座・教授・そして地域の影響が大きく、どこで学ぶかでかなり学びに違いが出るでしょう。とはいえ、大きく見ると法学・経済学や哲学は理論系、経営学や文学・歴史・人類学は事例研究系だと言えます。例えば法学などは、大学によって解釈があまりにも違ふとちょっと問題がありますね(だけではないのが学問ですが)。

以上は一面的な見方なので、このまま鵜呑みにはしないでください。

少し石川県の話からはそれましたが、一番言いたいのは、学びたい学問の特徴と、それぞれの大学がどういう個性を持っているのか、ということについてより深く考えて志望校を選んでいくことが大事だよ、ということです。実際には受験も入学もしないかもしれませんが、そうやって調べておくことは、大学に入ってから学問のイメージができてよいと思います。